

瀬戸内市立美術館 主催

# 開館15周年記念講演会

## 乗代 雄介 (作家) × 佐竹 徳 (洋画家)



文学創造都市  
おかやま



《講師》乗代 雄介 氏 (のりしろ ゆうすけ)

1986年北海道生まれ。法政大学社会学部メディア社会学科卒業。2015年「十七八より」で第58回群像新人文学賞を受賞し、デビュー。2018年『本物の読書家』で第40回野間文芸新人賞受賞。2021年『旅する練習』で第34回三島由紀夫賞受賞、第37回坪田譲治文学賞受賞。2023年『それは誠』で第40回織田作之助賞受賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024年『二十四五』で第172回芥川賞候補。

作家・乗代雄介氏の作品の特徴は、日本中を歩きながら目にした自然を前にして書くという写生文です。そのスタイルを決定づけたのが、牛窓にゆかりのある画家・佐竹徳の作品との出会いでした。

今回の講演会では、乗代氏にとっての牛窓や佐竹画伯の存在についてお話ししていただきます。

会場

瀬戸内市立美術館  
3階ギャラリー  
(岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4911)

定員

70名 (先着順・参加費無料)

申込

美術館ホームページの申込フォーム  
からお申込ください。  
※お電話での受付は致しかねます。



申込フォーム

2025年

参加費無料

日時

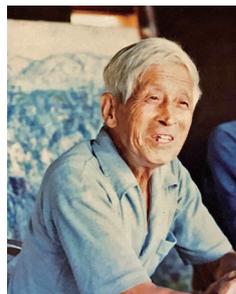
9月23日(火・祝)

START 13:30 ~ 15:00  
(開場 13:00)

講演会後、会場にて乗代氏によるサイン会を  
実施します。ぜひお越しください。

さたけとく  
佐竹 徳 (1897-1998年)

明治30年大阪生まれ。日本を代表する風景画家。京都や東京で洋画を学び、青森県の十和田、奥入瀬を描いて「溪流の画家」として有名。昭和34年に初めて岡山県牛窓を訪れ、オリーブ畑の広がる瀬戸内の風景に魅せられて以降、同地にアトリエを構えて亡くなるまでの約40年間制作を続ける。作品「オリーブと海(牛窓)」で日展総理大臣賞や日本芸術院賞を受賞。



瀬戸内市立美術館  
Setouchi City Museum of Art



〒701-4302  
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4911

TEL.0869-34-3130  
FAX.0869-34-3438

アクセス

【公共交通機関でお越しの方】

JR 赤穂線 邑久駅から市営バス [8 牛窓中央線] 約20分、「紺浦(牛窓支所前)」停留所下車徒歩1分

(市営バス…乗車100円※2025.4.1時点)

【車でお越しの方】

岡山ブルーライン[邑久IC]から県道39号線を牛窓方面へ約10分(無料駐車場あり/乗用車60台・バス1台)